



大野 紗矢ちゃん

上河内、大野浩正・加代子さんの2女=1歳



早坂 凌太ちゃん

上今泉、早坂宣則・美雪さんの長男=1歳



済藤 颯真ちゃん

大谷、済藤和行・由佳さんの長男=1歳



山口 義人ちゃん

大谷、山口義博・貴世さんの長男=1歳



岩田 美穂ちゃん

門沢橋、岩田和浩・紀子さんの長女=1歳2カ月



青木 一世ちゃん

上郷、青木均・潤子さんの長男=1歳1カ月



本田 拓馬ちゃん

柏ヶ谷、本田廣明・弘美さんの長男=1歳1カ月



藤井 美佳ちゃん

国分南、藤井直海・昌子さんの2女=1歳

まんまる赤ちゃん

■「まんまる赤ちゃん」応募要領が変わります

4月1日(月)受付分から、対象を申込時点で満9カ月未満の赤ちゃんに変更し、応募多数の場合は抽選のうえ掲載します。なお、3月29日(金)までは、従来どおり満1歳未満の赤ちゃんを対象に受付を行います。



▲本格手作りそばに舌鼓

2月6日、今泉小学校4年生の児童106人が、海老名市そば商組合の協力で、そば作りを体験。そばの実をひいてできたそば粉を練り上げて、一所懸命に作り上げたそばに児童たちは大喜びでした。

フオクトピックス



▲春の香りと色彩ショー

2月19・20日、湘南温室組合に所属する農家が栽培した色とりどりのスイートピーなど花きを展示する「花き持ち寄り品評会」が市役所エントランスホールで行われ、訪れた市民は一足早い春の香りを楽しみました。



〔▷場所 中央公民館 ▷撮影日 1月14日〕  
望地在住・桜井 昭さん撮影



みなさんからの作品

海老名の冬風景

2月15日、消防北分署に歌舞伎絵をあらわった巨大だこ(縦260cm×横200cm)が出現。火災予防のPRのため署員たちが手作りで作成したたこに、通学途中の柏ヶ谷小の子どもたちもたちもびつくり!

▶「巨大だこ」で火災予防



今月のプロフィール

初の養成講座開いた

海老名災害ボランティアネットワーク代表

小川正文さん



「参加者も加入者も当初の予想よりずっと多かった。みなさんの防災に対する関心の高さがうかがえました」と話すのは、海老名災害ボランティアネットワーク代表の小川正文さん。同ネットワークは、災害時に救援や復興のためのボランティアの受け入れの核となつて活動することを目的に、去年12月、20人の市民有志で結成。先月16・17日に初のボランティアコーディネーター養成講座を自主開講したところ、参加した64人中24人がネットワークに加入しました。市青少年指導員、少年野球連盟で活躍していた小川さんが、災害時のボランティア活動の必要性を感じたきっかけは、他市で行われた防災講座に参加し、阪神淡路大震災でのボランティア活動の体験談を聞いたときでした。「とても印象深い話でした。いざというとき、自分の家族を守り、隣人や周囲の人たちを助けるには、互いに助け合う横のつながりが不可欠。そして、海老名にはそ

横のつながりコーディネート

イチゴはビタミンや食物繊維など栄養価の高い食べ物として知られています。病気の予防や鎮痛などに効果があるそうです。それと

編集後記

甘い香りも食欲をそそります。取材日にハウス内の甘い香りをかぐはずが、風邪をひいていて何もおいませんでした…。残念。(裕)